

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.27	
	「3歳未満児保育」	32	4.06	
	「3歳以上児保育」	53	4.00	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.06	
	「健康・安全」	29	4.69	
	「子育ての支援」	18	3.83	
	「職員の資質向上」	9	4.22	
計	172	4.15		
総合 評価	<p>今年度は、養護面に配慮しながら、それぞれの子どもが、自分らしく主体的に活動できる環境、プロジェクト教育・保育の展開に努めてきた。まだ不十分な部分もあるが、環境の見直しや取り組みの継続等、委員会や研修からの学びを、少しずつ形にして実践へと繋げられるようになってきている。またコロナ禍で規制されることも多くあったが、それに代わる取り組みを子どもたちと一緒に考え、大いに楽しんでいる姿も見られた。ただ、地域交流や子育て支援、関係機関との連携等は、遅滞したままで、今後の課題となっている。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
受容的環境の確立	定期的な自己評価を実施し、その結果から職員間で検討して見直し・改善をする
感染症対策の強化	行政等の感染症情報をいち早く把握し、感染防止のマニュアルの改訂や取り組みの徹底をしていくとともに、薬品・機材の効用を理解して使用することで、予防対策の強化をしていく
地域への見える化 ・見せる化	社会情勢を考慮した上で、児童館や地域に於ける事業の取り組みに参加し、地域との関わりを深めていく